生きがい通信

No.182

公益社団法人 習志野市シルバー人材センター

習志野市屋敷4-6-6 東部保健福祉センター内
TEL493-8011　FAX493-8040
URL:http://www.sjc.ne.jp/narashino/　E-mail:narashino@sjc.ne.jp

令和２年９月30日現在
会員数:908名
男性723名 女性185名

公益社団法人習志野市シルバー人材センター設立 40 周年のあゆみ

公益社団法人習志野市シルバー人材センターは、『高齢者事業団』、『社団法人』を経て、令和３年に設立40周年を迎えます。記念行事等につきましてはコロナ禍ではありますことから、理事会にて慎重に検討されることとなります。

昭和５６年	習志野市高齢者事業団設立
昭和５９年	社団法人習志野市シルバー人材センター設立
平成 ３ 年	社団法人習志野市シルバー人材センター設立１０周年
平成１４年	設立２０周年式典開催
平成２３年	設立３０周年式典開催
平成２４年	公益社団法人に移行

＊令和３年３月５日、設立４０周年を迎えます。

～今日のシルバー人材センターを支えた人々～

設立４０周年の歴史の陰には先人の多くのご苦労が伺えます。今回はその中で親子２代にわたりご活躍の会員をご紹介します。

今関政光会員（香澄地区）

ご尊父　今関義信さん
（明治４３年生まれ）
◆昭和６０年入会、平成７年退会

今関 政光会員談

父親は７０歳を超えてから入会したようです。先輩から勧められて植木の剪定の仕事に就いてお客様には評判も良く、仕事が上手くいったときはいつもご機嫌でしたね。「お前も俺の年になったらシルバーにお世話になりなさい。」と、よく言ってましたっけ。２代目シルバーですか・・・・・・。感慨深いですね。

三代川道男会員（谷津地区）

ご尊父　三代川 幸助さん
（大正１５年生まれ）
◆平成５年入会、平成１９年退会

三代川 道男会員談

おやじはもともと和船造りの職人で、造船会社を経営しておりました。屋号は〔梅大工〕といい、昔から習志野にいる方は覚えてらっしゃるでしょう。とにかく頑固者で当時のシルバーの話はよく聞かされました。今思えば、私がシルバーに入ったのもその影響が少なからずあったと思います。まあ、感慨ですね。血筋で私も頑固者と仲間に言われています（笑）

職場訪問

就業先訪問

～Part 2～

株式会社市進ラボ ナナカラ奏の杜

今回、株式会社市進ラボ体験型学童保育施設『ナナカラ奏の杜』を訪問させていただきました。

『ナナカラ』とは7色の虹をイメージし、子供たちの個性がそれぞれの色で光り輝いてほしいとの願いを込めて名付けられたとのことです。

奏の杜スクールは開設5年と新しく、とても明るい雰囲気でした。取材は下校時間帯に伺い、数名の低学年のかわいい子供たちが出迎えてくれました。鳥谷部事業本部エリアマネージャーと小味施設長からは学童教育方針についてお話を受けました。

対象は1年生から6年生。現在40名前後の生徒を5名のスタッフで預かっておられるとのことです。そして【体験型学童保育】とは子供たちの持つ個性と才能を発芽させるための専門の先生による勉強のサポート、外遊びや自由な読書、ブロックを使った講座などを通じて好奇心を最大限に引き出すことで問題解決能力などを身に付けるための用意をされているとのお話がありました。コロナ禍の影響で実施できない活動もあるようですが夏休みには予防策を万全にしてデイキャンプを行ったそうです。

当シルバー人材センターとの契約はその名の通り子供たちへの「見守りサポート」と手作りのおやつを提供する「調理サポート」です。教室での見守りサポートで活躍されている太田みち子会員は3年目となるベテランです。どの子にも笑顔で接する姿をみて鳥谷部様からも高評価のお言葉を頂戴いたしました。

午後3時も過ぎ、子供たちも続々と入室し、賑やかになってきましたので取材協力のお礼を申し上げ帰路につきました。今後の更なる発展を祈念申し上げます。

（広報部会　関　博夫）

見守りサポート太田会員

左:小味施設長
右:鳥谷部エリアマネージャー

No.1 私のふるさと紹介

東習志野地区　茅谷　昌夫

私のふるさとは、千葉県南房総市和田町です。平成十八年に安房郡富浦町、富山町、三好村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の7町村が合併して南房総市になりました。

和田町は冬暖かく夏は涼しい海洋性の気候で豊かな自然に恵まれており、鯨と花の生産地として知られております。和田漁港は、日本全国に4か所しかない捕鯨基地の一つで、鯨漁は期間と捕獲数が決められており、毎年6月から8月まで26頭の「つちクジラ」が水揚げされます。捕獲された「つちクジラ」は隣接する解体場で解体され、その様子を見ることができます。私の実家から解体場まで100m位で、なぎなたの様な大きな解体用包丁で、豪快に解体されるのをよく見物に行きました。また、鯨がその場で売り買いされるので、バケツをもって買いに行ったりもしました。1日に2，3頭も捕獲されたときは、鯨の血が海に流れ、いつも泳いでいた砂浜が泳げなくなり、15分位歩いて日本の海水浴場55選に選ばれた和田浦海岸まで移動して泳ぎました。クジラは手のひら大にスライスしたクジラ肉を特製のたれに漬け込み天日干しにする「クジラのたれ」や「煮物」、学校給食では「クジラ竜田揚げ」をよく食べました。最近では「くじらベーコン」、「くじら刺身」、「くじらステーキ」、「寿司」等多彩な料理が楽しめます。

また、南房総はお花の産地として知られておりますが和田町の有名人、間宮七郎平（1893～1985）の花づくりが始まりです。小学生の頃、天皇皇后両陛下が千葉行幸された折、お花づくりをご覧になられました。今でも天皇皇后行幸記念碑の隣に七郎平の偉業と功績が讃えられた功労碑が佇んでいます。和田町には花畑も多く、キンセンカとストックが多く栽培されており、間宮七郎平に薫陶をうけ、花づくりを始めた女性をモデルにした、田宮虎彦の「花」を原作に高橋恵子主演の「花」が映画化されました。

こんなふるさとに、お彼岸とお盆にはお墓参りに帰ります。

和田町お花畑

No.2 私のふるさと紹介

実籾地区　佐野　忠志

私のふるさとは、岩手県陸前高田市です。海岸（三陸海岸）の最南端で、宮城県と県境です。海は遠浅で港はありません。小舟でカキ、ノリ、ワカメ等の養殖をしています。少し沖に網を仕掛け、イワシなどの小魚を取っています。砂浜が広く特に「松原海岸」は宿泊施設、売店が多くあり、近郊からの海水浴客で賑わいます。平地は田があり、丘や山では野菜、リンゴ等の果物も作りますので食べ物は十分です。

市の「お祭り」と「津波」について紹介します。

お祭りはお盆に「動く七夕」があります。8町会の部落25か所位でリヤカーに飾り付けを行い、みんなで引っ張り一か所に集まり品評会を行うものです。終わったらみんなで戻ります。

チリ・アメリカ地震津波が昭和30年頃に来て大被害がありましたので、5メートルの防波堤が出来ましたので、安心していた所がありました。実家は床下まで水が来ましたが、被害はありませんでした。家の前の田まで海近くの家の屋根が流れて来ました。

東日本大震災が2011年に発生しました。5メートルの防波堤を軽々超えて行き、川の逆流水と合せ広く大きく被害を出しました。死亡行方不明者1，700名（住民24，500名）、全壊家屋3，159件、（高田松原の）数万本松も「奇跡の1本松」以外は倒れてしまいました。実家も跡形なく流されてしまいました。前年に母が亡くなっていて、誰も住んで居ず、身内での人的被害はありませんでした。ただ、親類の家も7件流され5名の死者が出て残念でした。お墓は山に有るので無事でした。時々お墓参りにと思います。

写真　「動く七夕」

行事予定

入会説明会（定例 月3回）
毎月第2・第3水曜日
午前9時30分～
毎月第2金曜日
午後1時30分～（4月から新設）
シルバー人材センター会議室

就業相談（予約制、会員限定）
毎月第2・第3水曜日
午後1時～（30分単位）
シルバー人材センター会議室

刃物研ぎ作業
毎月5日、12日、20日
午前9時～
リサイクル作業所（袖ケ浦）
毎月第4木曜日　午前9時～
シルバー人材センター会議室

書道教室（9月から再開しました）
毎月第1、第3火曜日
午後1時30分～
シルバー人材センター会議室

※なお、新型コロナウイルス感染防止のため、急遽中止となることもございますので、まずはシルバー人材センターにお問い合わせください。（事務局）

「街の笑顔が届いた　ちょっといい話」

日頃、何気ないお客様との会話の中で心温まるお話を紹介します。

暑い中、お疲れ様です。子供から「駐輪場のおじさんたちがとても優しいんだよ！！」と聞いています。いつも声かけありがとうございます。また、自転車のメンテナンスもしてくださっているとか・・・申し訳ありません、とても助かっています。感染症や熱中症など気をつけなければいけない時期でありますがどうかお体気を付けてください。今後も子供たちに声掛けしてください。

駐車場を利用している女子高生のお母さまからの手紙です。水分と塩分の差し入れもあったようです。おそらく、どこでも見かけるお客様との風景だと思いますが、これらの何気ない心遣いがシルバー人材センターの評価に繋がります。これからも地域に愛されるシルバー会員を目指しましょう！！

＊この駐輪場は『さくら公園前駐輪場（イオン津田沼脇）』です。

（広報部会）

編集後記

終息の見えないコロナウイルス、国内外で感染対策のワクチン開発は日進月歩も長期戦の様相です。

◆中国の古典「老子」には「この世界を知り、受けいれることが充実した生活を生む」先ず、自然の理を受け止め、国民一人ひとり、感染予防には生活習慣と体調管理が基本です。

◆今年の秋、シルバー世代はステイホーム、外出控え、体力つくりでコロナに負けずに頑張りましょう。

広報部会

出張入会説明会（谷津公民館）

令和２年９月18日（金）午後１時30分より、谷津公民館において『出張入会説明会』を開催いたしました。これは全国シルバー人材センター事業協会が策定した「第２次会員100万人計画」の推進のため、市内公民館に出向くことで、入会の機会を増やすとの目的で令和２年度事業計画に基づき行われたものです。本来ですと今年度３回目の開催となるところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため５月の開催を中止し、今年度２回目の開催でした。（１回目は７月17日（金）サンロード津田沼にて実施）参加者９名に対し、４名（男性３、女性１）の入会申込みがありました。次回は11月20日（金）午後１時30分より新習志野公民館で開催予定です。以降は、令和３年１月、３月にも予定しております。※「広報習志野」「シルバー人材センターＨＰ」に詳細掲載予定